



間伐・枝打ち技術やチェーンソーの扱い方などの実地指導を通して、高校生と交流

林業の体験学習を行うこととして、小学生ではネイチャークラフトや自然観察会の実施、中学生では町有林で枝打ち体験を行っています。

林業をとりまく情勢や木材価格は依然厳しい状況であり、森林所有者の高齢化に伴い林業後継者の育成問題も深刻です。このような

中、私たち林業研究会は地域林業の担い手として期待されるところが非常に大きいものであると自負しています。

小中学生を対象とした森林環境教育にも取り組んでいる。年齢に応じた森林林業の体験学習は会員の得意とするところ

整備し、木工所を開設しました。ここでは、会員の山林から伐採・搬出されてきた間伐材を利用して、簡易な木工製品へと加工しています。主なものは、プランターケースや長イス、机などですが、町内にある農産物即売所も会員で建てました。木工所で製作された

木工製品は、地元の農林業祭や文化祭・冬祭りなどで出展し、展示即売しています。会場では、「自分もやってみよう」と興味を持ち、話を聞いてくれる方も多数います。技術的にはまだまだだつたないところがありますが、試行錯誤しながら楽しく実施しています。

豪雪地林業の取り組みとして耐雪性スギ挿し木苗の生産研究、間伐材を利用した道具施設の製作、公有林内での施肥施設による生育研究、付加価値を高めた木材生産を目指した絞り丸太育成、短期収



柳津町林業研究会の皆さん

WE LOVE forest! 林業研究グループ

柳津町林業研究会

福島県柳津町

会員数 18名 (男18名)
設立 昭和51年1月

私たちが活動している柳津町は、会津若松市より西へ25km、日本三代虚空蔵尊のひとつ、福満虚空蔵尊を有する、いで湯と信仰の町です。キノコ類やトマト、花類の生産が盛んで、古くから「会津桐」の産地としても有名です。

町の気象は平均降雪量が120cm以上と典型的な豪雪寒冷な地域です。町の総面積1万7607haのうち86%に当たる1万5262haを森林が占めており、中には百年を超えるスギ林やナラ等有用な広葉樹林があります。しかしながら、地形は急峻で造林適地は少なく、人工林率は26%と県平均の37%を下回っています。

■結成から32年

柳津町林業研究会は、柳津町の林業経営者および林業後継者の林業技術を高め、会員相互の経済向上を図り、明るく豊かな農山村建設を目的として昭和51年に結成され、現在18名の会員により構成されています。

入を目指したマツタケ発生環境研究やハタケシメジの試験栽培等、多種の活動を実践し続け、今年で32年目を迎えることになりました。その活動により会員の親睦を深め、地域の林業振興に尽くしています。

「間伐の際、山に残された間伐材を利用できないか」。このテーマから間伐材を利用した道具・ベンチ等の製作を実施してきました。さらに間伐材の利用を拡大すべく平成14年度に木材加工機械を



木工機械導入し、会員の山林から搬出してきた間伐材を利用して、プランターケースや長イスなどを加工